



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月5日

上場取引所 東 福

上場会社名 リックス株式会社
 コード番号 7525 URL <http://www.rix.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 松浦 賢治
 (氏名) 荻田 透
 配当支払開始予定日

TEL 092-472-7311
 平成24年12月6日

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	14,025	△3.4	569	△1.1	596	△4.1	350	5.2
24年3月期第2四半期	14,515	14.0	576	11.5	621	13.3	332	84.0

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 187百万円 (△35.2%) 24年3月期第2四半期 289百万円 (153.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	41.24	—
24年3月期第2四半期	39.20	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	19,144	8,529	42.7
24年3月期	19,545	8,433	41.2

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 8,169百万円 24年3月期 8,058百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	8.00	—	10.00	18.00
25年3月期	—	9.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,600	△2.6	1,100	△11.1	1,170	△13.2	630	△3.3	74.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有
 詳細につきましては、添付資料4ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細につきましては、添付資料5ページ「(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

詳細につきましては、添付資料5ページ「(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期2Q	8,640,000 株	24年3月期	8,640,000 株
25年3月期2Q	148,564 株	24年3月期	148,564 株
25年3月期2Q	8,491,436 株	24年3月期2Q	8,491,495 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	12
(5) セグメント情報等	12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間において世界経済は、欧州財政危機を背景にユーロ圏の成長率がマイナスに転じ、景気回復のけん引役を担ってきた中国をはじめとする新興国でも減速感が強まってきました。一方、日本経済は東日本大震災の復興需要が内需を支えたものの、最大の貿易国である中国向け輸出が減少するなど外需が低迷し、景気回復の動きは足踏み状況にあります。

依然として厳しい経営環境のもと、当社グループは顧客に対して、原価低減、省エネルギー、品質向上等の価値提案を主とした顧客密着営業を展開し、生産比例品および消耗品等の販売に注力いたしました。また、新商品の開発・拡販にも力を入れ（売上高13億41百万円、前年同期比21.3%増）、業績向上に努力してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高140億25百万円（前年同期比3.4%減）、営業利益5億69百万円（同1.1%減）、経常利益5億96百万円（同4.1%減）となりましたが、法定実効税率が引き下げられたことなどにより、四半期純利益は3億50百万円（同5.2%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(鉄鋼業界)

同業界では、建設用鋼材が伸びたものの総じて国内向けは減少傾向がみられ、8月には6ヵ月ぶりに普通鋼材の内需全体が前年同月比マイナスとなりました。粗鋼生産量は前年同期をわずかに上回ったものの、9月には7ヵ月ぶりに前年同月比マイナスとなっており、円高で振るわない輸出と高水準の輸入が続く状況を反映しています。

当社グループにおきましては、製鋼用副資材としての脱磷材の売上が伸び、海外製鉄所向け結束機等の設備投資案件があったものの、前年同期に好調な販売実績を残した土壌黒鉛のマイナスを補うまでに至りませんでした。

この結果、鉄鋼業界向け全体としての売上高は48億86百万円（前年同期比5.7%減）となりました。

(自動車業界)

同業界では、エコカー補助金の政策効果により、国内需要は前年同期を上回っていましたが、補助金が終了した9月は12ヵ月ぶりにマイナスに転じました。一方、工作機械の受注は8月に一時的に落ち込んだものの、9月には北米や東南アジア向け輸出が外需を押し上げ、好調の目安とされる内需・外需の受注総額1,000億円を回復しています。

当社グループにおきましては、自社製回転継手の販売が伸び、売上・利益両面に貢献しました。また、国内外の連結子会社も好調なセールスを記録し、売上増加分の47%を占めました。

この結果、自動車業界向け全体としての売上高は29億27百万円（前年同期比17.7%増）となりました。

(電子・半導体業界)

同業界では、国内の半導体製造装置については受注・販売とも前年同期を下回り、特に受注額の減少傾向が鮮明になってきています。FPD製造装置についても受注・販売とも総じて前年同期を下回りましたが、販売額の減少傾向に対し受注額には増加傾向が見られ、9月は13ヵ月ぶりに前年同期を上回りました。

当社グループにおきましては、半導体製造装置向けフラックス洗浄装置やナノ微粒化装置等プラス材料はあったものの、前年同期に好調な販売実績を残した太陽電池向け石英加工品やウェハー移載機のマイナスを補うまでに至りませんでした。

この結果、電子・半導体業界全体としての売上高は13億45百万円（前年同期比21.3%減）となりました。

（ゴム・タイヤ業界）

加硫機用断熱板や水圧BAGシリンダー、油圧シリンダー等が売上増に寄与したものの、加硫機の改造・補修品やバルブの落ち込みをカバーできず、ゴム・タイヤ業界全体としての売上高は11億78百万円（前年同期比19.5%減）となりました。

（環境業界）

比較的利益率の高い膜分離システムの販売が好調だったものの、前年同期に大きなプラスとなった下水処理施設向けボールジョイントの販売を補うまでには至らず、環境業界向け全体としての売上高は5億62百万円（前年同期比5.0%減）となりました。

（紙パルプ業界）

抄紙工程で使用されるルーツブロアーの販売が伸びたものの、ポンプ類の落ち込みをカバーできず、紙パルプ業界全体としての売上高は3億14百万円（前年同期比5.3%減）となりました。

（化学業界）

石油化学プラント向け逆止弁等のプラス要因があったものの、前年同期に売上増に寄与した塩化炉の開口機の販売を補うまでに至らず、化学業界全体としての売上高は4億78百万円（前年同期比4.2%減）となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

（資産）

流動資産は、前連結会計年度末より2.8%減少し、145億73百万円となりました。これは主に現金及び預金が2億9百万円、受取手形及び売掛金が4億13百万円それぞれ減少し、一方でたな卸資産が1億60百万円増加したことなどによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末より0.3%増加し、45億71百万円となりました。これは主に有形固定資産が9百万円減少し、一方で投資その他の資産が16百万円増加したことなどによるものです。

これらの結果、総資産は、前連結会計年度末より2.0%減少し、191億44百万円となりました。

（負債）

流動負債は、前連結会計年度末より3.1%減少し、97億76百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が8億15百万円減少し、一方で短期借入金が6億23百万円増加したことなどによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末より17.6%減少し、8億38百万円となりました。これは主に役員退職慰労引当金が1億63百万円減少したことなどによるものです。

これらの結果、負債合計は、前連結会計年度末より4.5%減少し、106億15百万円となりました。

（純資産）

純資産合計は、前連結会計年度末より1.1%増加し、85億29百万円となりました。これは主に利益剰余金が2億65百万円増加し、一方でその他の包括利益累計額が1億53百万円減少したことなどによるものです。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

景気の足踏みに伴い、大型の設備案件が当初の予想より少なかったため、売上高につきましては当初の予想を下方修正しております。一方、利益につきましては、小物部品等の比較的利益率の高い商品の売上が多かったこと、利益率の高い自社製品の売上が当初の予想を上回る見込みであること、及び海外子会社の業績改善が進んだことから、当初の予想額を確保できるものと見込んでおります。

詳細につきましては、平成24年11月5日に別途公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

（金額の単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	30,400	1,100	1,170	630	74.19
今回修正予想(B)	28,600	1,100	1,170	630	74.19
増減額(B-A)	△1,800	0	0	0	
増減率(%)	△5.9	0.0	0.0	0.0	
(ご参考)前期実績 (平成24年3月期)	29,372	1,237	1,347	651	76.76

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の算定方法)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて算定する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これにより損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,196,366	1,986,484
受取手形及び売掛金	10,643,617	10,229,659
商品及び製品	806,964	894,111
仕掛品	74,167	157,005
原材料及び貯蔵品	73,041	63,067
その他	1,195,959	1,246,989
貸倒引当金	△4,152	△4,008
流動資産合計	14,985,965	14,573,310
固定資産		
有形固定資産	1,864,660	1,855,001
無形固定資産	83,333	88,545
投資その他の資産		
投資有価証券	2,083,415	1,932,498
その他	536,193	704,341
貸倒引当金	△7,925	△8,707
投資その他の資産合計	2,611,684	2,628,132
固定資産合計	4,559,677	4,571,679
資産合計	19,545,643	19,144,989
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,709,465	6,894,239
短期借入金	1,175,750	1,798,750
1年内返済予定の長期借入金	42,002	11,683
未払法人税等	274,342	281,170
役員賞与引当金	—	24,486
受注損失引当金	2,634	—
その他	889,532	766,558
流動負債合計	10,093,727	9,776,888
固定負債		
長期借入金	7,940	5,930
退職給付引当金	533,240	537,378
役員退職慰労引当金	365,764	202,684
その他	111,471	92,736
固定負債合計	1,018,417	838,730
負債合計	11,112,145	10,615,618

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	827,900	827,900
資本剰余金	683,986	683,986
利益剰余金	6,532,058	6,797,246
自己株式	△79,081	△79,081
株主資本合計	7,964,863	8,230,051
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	183,663	27,268
為替換算調整勘定	△89,927	△87,338
その他の包括利益累計額合計	93,736	△60,069
少数株主持分	374,898	359,390
純資産合計	8,433,498	8,529,371
負債純資産合計	19,545,643	19,144,989

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	14,515,925	14,025,585
売上原価	11,793,251	11,220,155
売上総利益	2,722,674	2,805,429
販売費及び一般管理費	2,146,569	2,235,750
営業利益	576,104	569,678
営業外収益		
受取利息	1,435	2,095
受取配当金	12,706	13,169
持分法による投資利益	29,992	11,573
不動産賃貸料	12,344	10,646
その他	14,024	11,665
営業外収益合計	70,503	49,150
営業外費用		
支払利息	3,064	3,444
為替差損	17,973	13,298
投資事業組合運用損	2,741	3,082
その他	828	2,229
営業外費用合計	24,608	22,055
経常利益	621,999	596,772
特別利益		
固定資産売却益	70	926
保険解約返戻金	408	47,204
受取保険金	46,263	—
特別利益合計	46,742	48,131
特別損失		
減損損失	122	460
固定資産除却損	437	157
投資有価証券評価損	3,324	10,390
会員権評価損	200	1,100
特別損失合計	4,085	12,108
税金等調整前四半期純利益	664,656	632,795
法人税等	311,680	270,377
少数株主損益調整前四半期純利益	352,976	362,418
少数株主利益	20,116	12,201
四半期純利益	332,859	350,217

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	352,976	362,418
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△60,286	△177,112
為替換算調整勘定	△3,718	2,588
持分法適用会社に対する持分相当額	523	△191
その他の包括利益合計	△63,482	△174,716
四半期包括利益	289,493	187,702
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	278,513	196,410
少数株主に係る四半期包括利益	10,979	△8,708

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	664,656	632,795
減価償却費	100,311	112,612
減損損失	122	460
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	23,332	24,486
未払役員賞与の増減額(△は減少)	△37,646	△41,752
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△723	4,138
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△8,464	△163,079
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△14,033	638
受注損失引当金の増減額(△は減少)	—	△2,634
受取利息及び受取配当金	△19,089	△19,300
支払利息	3,064	3,444
為替差損益(△は益)	5,013	2,459
持分法による投資損益(△は益)	△29,992	△11,573
固定資産除却損	437	157
有形固定資産売却損益(△は益)	△70	△926
投資有価証券評価損益(△は益)	3,324	10,390
投資事業組合運用損益(△は益)	2,741	3,082
会員権評価損	200	1,100
売上債権の増減額(△は増加)	△533,439	413,810
たな卸資産の増減額(△は増加)	64,023	△158,203
その他の資産の増減額(△は増加)	1,766	△200,208
仕入債務の増減額(△は減少)	△403,876	△799,058
未払消費税等の増減額(△は減少)	△4,396	1,146
その他の負債の増減額(△は減少)	△48,049	△41,761
小計	△230,785	△227,776
利息及び配当金の受取額	19,743	19,875
利息の支払額	△2,939	△3,481
法人税等の支払額	△583,953	△254,539
営業活動によるキャッシュ・フロー	△797,934	△465,921

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△463,666
信託受益権の取得による支出	△1,415,056	△1,157,839
信託受益権の償還による収入	1,628,038	1,356,813
有形固定資産の取得による支出	△66,454	△147,655
有形固定資産の売却による収入	2,962	1,746
投資有価証券の取得による支出	△107,856	△127,954
投資有価証券の売却による収入	2,100	2,000
関係会社出資金の払込による支出	—	△55,246
貸付けによる支出	△12,154	△49,942
貸付金の回収による収入	17,241	1,470
その他の支出	△27,473	△68,787
その他の収入	7,491	9,257
投資活動によるキャッシュ・フロー	28,838	△699,804
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	16,677,950	17,545,640
短期借入金の返済による支出	△16,838,750	△16,923,640
長期借入金の返済による支出	△35,360	△32,328
リース債務の返済による支出	△4,668	△5,104
配当金の支払額	△102,468	△84,727
少数株主への配当金の支払額	△6,800	△6,800
財務活動によるキャッシュ・フロー	△310,096	493,039
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,115	△861
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1,084,308	△673,548
現金及び現金同等物の期首残高	3,126,278	2,196,366
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,041,970	1,522,818

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント							
	鉄鋼	自動車	電子・ 半導体	ゴム・ タイヤ	環境	紙パルプ	化学	計
売上高								
外部顧客への 売上高	5,179,461	2,487,038	1,710,801	1,462,755	592,695	331,672	499,052	12,263,477
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	5,179,461	2,487,038	1,710,801	1,462,755	592,695	331,672	499,052	12,263,477
セグメント利益	401,546	70,829	78,179	64,923	24,677	20,031	39,326	699,515

	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
売上高				
外部顧客への 売上高	2,252,447	14,515,925	—	14,515,925
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—
計	2,252,447	14,515,925	—	14,515,925
セグメント利益	70,355	769,870	△193,766	576,104

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品業界及び造船業界等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額 △193,766千円には、内部利益 311,016千円、連結消去 118,534千円、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費 △623,317千円が含まれております。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント							
	鉄鋼	自動車	電子・ 半導体	ゴム・ タイヤ	環境	紙パルプ	化学	計
売上高								
外部顧客への 売上高	4,886,773	2,927,306	1,345,605	1,178,239	562,878	314,012	478,025	11,692,841
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	4,886,773	2,927,306	1,345,605	1,178,239	562,878	314,012	478,025	11,692,841
セグメント利益	338,542	162,144	67,580	40,062	32,390	13,737	34,376	688,834

	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
売上高				
外部顧客への 売上高	2,332,743	14,025,585	—	14,025,585
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—
計	2,332,743	14,025,585	—	14,025,585
セグメント利益	65,524	754,359	△184,680	569,678

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品業界及び造船業界等を含んでおります。
- 2 セグメント利益の調整額 △184,680千円には、内部利益 327,289千円、連結消去 112,098千円、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費 △624,068千円が含まれております。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。